



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

## 「第8回ほっかいどう海鮮王国フェスティバル」で歯舞をPR



＜多くのお客さんで賑わう売り場＞

11月8日(木)～14日(水)の7日間、さっぽろ東急百貨店9階催事場で「第8回ほっかいどう海鮮王国フェスティバル」が開催され、歯舞漁協職員が8日から11日までの4日間参加し、歯舞の特産品をPR販売しました。この取り組みは、歯舞地区マリンビジョン協議会のPR事業の一環として平成19年から始まり、今年で6年目となります。

販売品目は、「生干しコマイ」「北海しまえび」をメイン商品とし、真たこ、柳たこ、開きめんめ、煮つぶ、こまいっ子、さんまの旨煮の他、各種昆布製品など合計24品目を販売しました。

「生干しコマイ」は世代を問わず大人気で、期間中何度も買いに来てくれた方がいたり、「歯舞のコマイ」の人气が定着してきたと感じました。

また、「北海しまえび」も大変好評で、4日目には完売。他組合でも販売していましたが、嬉しいことに当組合のものが断トツで売れていました。えびの色艶が非常に良いのが要因のようで、当組合えび部会の加工技術の高さを改めて実感しました。

昆布しょうゆなどの知名度が非常に高いこともお客様の声からうかがうことができ、今後も歯舞ブランドを広く浸透できるようPR販売を続けていきます！

## 「水産関係マネジメント人材育成研修」に参加

「平成24年度水産関係マネジメント人材育成研修」が10月4日(木)～5日(金)、静岡市にて静岡県内の漁協中堅職員を対象に実施されました。歯舞漁協の伊藤専務理事が講師として出席し、「漁協主体の地域ブランド化と産地市場の活性化」と題して講演を行いました。

その中で、今後の販売戦略として、既往の流通ルートの中で活発な営業活動を行いつつも、少しでも販売網を開拓する努力を怠らないこと、テレビCMなど普及宣伝の必要性などを挙げました。また、地域の将来のために今やるべきことは、地域特性を活かした地道なマリンビジョン活動以外にないと述べ、地域をよく見て「ないものねだりより、あるもの探し」の意識で地域のモチベーションをアップしたいと締めくくりました。

また、今回の研修の他に静岡県漁連のご紹介で総合惣菜メーカーである(株)ヤマザキの工場見学をさせて頂きました。セブンイレブンプレミアムの「ポテトサラダ」や「筑前煮」といった惣菜シリーズを製造している工場で、徹底した衛生管理体制や、山崎寛治社長からヒット商品を生み出すコツなどを見聞し、大変有意義な見学となりました。



# 根室振興局が「食育講習会」を開催 ～歯舞漁協女性部が講師～

10月11日～12日に根室高校の2年生を対象に、22日～23日、25日に根室西高等学校の3年生を対象に、「食育講習会」を開催しました。

海産物に興味を持ち、地産地消の意識を高めるとともに、地元の食材の魅力を再発見してもらうことが目的で、歯舞漁協女性部の協力を得て開催されました。

実習内容は、さんまの三枚おろしとさんまを使った料理で、浜の母さんが実際調理を行う上でやっている、実践的なさばき方を伝授してもらいました。

初めてさんまの三枚おろしに挑戦した生徒でもきれいに簡単におろすことができ、魚をおろすのは面倒というイメージを覆すことができました。

また、管理栄養士による「さんまの栄養学」では、さんまに含まれる栄養素などを紹介しました。地域産業への理解を深め、食育を推進する人材の育成に役立つことが期待されます。



＜根室高校の実習風景＞



＜根室西高校の実習風景＞

# 北方領土を間近に望む「本土最東端パノラマ・クルーズ」を開始

今年も11月1日より「本土最東端パノラマ・クルーズ」を開始しました。根室の大自然を満喫できる大人気のプログラムです。皆さんも是非PRして下さい。



＜好天に恵まれた初日のクルーズ＞

＜パンフレット＞

## 編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

